

じっけんレシピ

PKH26 キット 製品番号 [PKH26GL](#)ミニキット 製品番号 [MINI26](#)希釈液C 製品番号 [CGLDIL](#)

Red Fluorescent Cell Linker Kit (製品番号 PKH26GL, MINI26)

簡易プロトコール (本簡易プロトコールは、英語データシートをご参照の上、ご利用下さい)

細胞懸濁液の調整

細胞懸濁液 (2×10^7 細胞)

軽く遠心、血清を含まない培地で1回洗浄



400 x g で5分間遠心した後、細胞ペレットに25 µL 以上の上清が残らないように上清を吸引。細胞ペレットに1 mL の Diluent C を加えて混合(ボルテックスは不可)。すぐに染色へ

2x 染色液の調整

(染色直前に用時調整)

最終濃度 2×10^{-6} M で染色する場合:4 µL の PKH26 (No. P9691) を1 mL の Diluent C に添加して 4×10^{-6} M の色素溶液を2x 染色液とする

染色反応

細胞懸濁液 1 mL と2x染色液 1 mL をピペッティングで迅速に混合し、25 °Cで2~5分間インキュベーション※ ※時々チューブを反転して混合



反応停止

等量(この例では2 mL)の血清またはタンパク質溶液(1% BSA など)を反応液に添加
1分間インキュベーション

希釈

等量(この例では 4 mL)の完全培地を添加して
希釈 (Diluent C は使用しない)



洗浄

400 x g、25 °Cで 10 分間遠心後、上清除去



10 mL の培地(血清含む)を添加
新しいチューブに移す



400 x g、25 °Cで 5 分間遠心後、上清除去



10 mL の培地(血清含む)を添加
2 回以上行う



濃度決定、再懸濁

完全培地 10 ml で懸濁して細胞密度を決定。
希望の細胞密度に調整する。



観察

2%パラホルムアルデヒドで固定
(アセトンは色素が流出するため不適)
励起波長 : 551nm
測定波長 : 567nm (赤色)